校長室だより

「ハッピー通信」55号

令和5年3月31日

HPです

1年間ありがとうございました

校長室だより「ハッピー通信」R4年度版は55号をもって最終版となります。

日々の学校生活の様子などを思いつくままに綴ってきましたが、児童から「ハッピー通信みてるよ」「校長先生のおたよりに写真がのったよ、ありがとう」など、うれしい言葉に励まされ、ハッピーな気分で発行を続けることができました。保護者のみなさまお付き合いくださりありがとうございました。

4月からは「ハッピー通信」R5年度版を発行していきますのでどうぞよろしくお願いします。

3／31
沖縄タイムス

今年度はたくさん新聞に掲載していただきました。沖縄タイムス、琉球新報の通信員のみなさま本当にありがとうございました。

「夢への五か条」兼次小児童学ぶ

砂川さんキャリア講演

砂川正美さん（前列中央）と6年生の児童たち＝9日、今帰仁村・兼次小学校

【今帰仁】今帰仁村立兼次小学校（上間久仁校長）は9日、同校で6年生を対象に、4人の息子全員が甲子園に出場した砂川正美さんを講師に迎えてキャリア教育講演会を行った。

テーマは「夢をかなえる黄金の五か条」。砂川さんは長男が小学6年の時、甲子園に出て活躍したいから、甲子園に行く行き方を教えてほしい」と言われて「俺のことを信じてやり続けると約束するんだったら」と、「自分の夢を文字にする」「夢をかなえたかっこいい姿を想像する」―など五つの約束を提示した。息子たちは全員、この約束を守り続けて甲子園出場を果たした。

砂川さんは「実践するかどうかは判断次第。皆さんの可能性は無限大だ。諦めず、自分で自分を信じて正々堂々と、夢をかなえてほしい」と力説した。講話後、オリジナルの夢をかなえるがんばりノートを全員にプレゼントした。（赤嶺幸代通信員）

作った絵本「読んで」

ひと粋

志慶真空良さん（8）＝右
泉川葵さん（7）

今帰仁村兼次小学校の2年生。最近、空良さんは絵本作りに夢中だという。これまでに5冊の絵本を完成させた。

「学校のみんなに読んでほしい、みんなが笑顔になると僕もうれしい」とにっこり。

仲良しの葵さんは「物語がとっても面白かった。空良さんはすごいな！」と笑顔を見せた。（今帰仁、赤嶺幸代通信員）

やまいもカレーライスを前に笑顔の児童＝1日、今帰仁村・兼次小学校

山芋 カレーに変身

今帰仁 児童ら給食喜ぶ

【今帰仁】1月26日に今帰仁村諸志区公民館で行われた「山芋スイーツ」の児童生徒らに育てた山芋を食べてもらおうと、村給食センターへ180本の山芋を寄贈した。2月1日の給食で「やまいもカレーライス」として登場した。

カレーが好きな兼次小の児童らは「今日はやまいもカレーライスだよ」「山芋はプレゼントされたんだよ」と大喜び。2年生の奥原瑠花歩さんは「とてもおいしい」と満面の笑みだった。8日には「ホクホク山芋」として給食に登場した。（赤嶺幸代通信員）

息合った好プレー連発

今帰仁 親子野球に笑顔広がる

❷優勝した北山キングの親子ら＝9月11日、今帰仁村営グラウンド ❸準優勝した今帰仁チーム絆の親子ら

【今帰仁】今帰仁村親子野球大会（同村子ども会主催）が9月11日、同村営グラウンドで行われた。

今帰仁チーム絆ヤンデンの親川慎太穂さん（今帰仁小学校6年生）が「協力度って命かけて僕たちを産んでくれたお母さんに感謝し、親子でバッテリーを組むお父さんへの不満をボールに込め、全力投球で親子野球を楽しみます」とユニークな選手宣誓で大会を盛り上げた。

試合では親子で息の合ったバッテリーを組んだ、母親らが打席に立つと「お母さん頑張れ！」と子どもたちから声援が飛んだ。

チームを指導する監督が空振りすると、親子らが笑顔でアーイングするなど、多くの珍プレー好プレーが飛び出した。

参加した親子らは終始笑顔で、思い出の親子野球となった。大会は北山キングが優勝し、準優勝に今帰仁チーム絆が輝いた。（新城孝博通信員）

れにさん 兼次小に来た！

「夢は紙に書いて 友達に見せて」

ももクロメンバー・今帰仁出身

筝と三線 相次ぎ入賞

ひと粋

天久ことはさん(11)

兼次小学校5年生。去年の冬から箏と三線を習っている。このほど行われた琉球箏曲興隆会第13回こども奨励賞鋼賞、琉球古典音楽野村流音楽協会第16回琉球奨励賞鋼賞に合格した実力者。「箏と三線を弾くのは楽しい」と箏中になっている。

夏休みは、箏や三線の他にも「学童で映画や遠足に行ったりして楽しかった」と満喫した様子。（今帰仁、赤嶺幸代通信員）

語やびら大会沸かす

ひと粋

奥那嶺栄路さん(10)

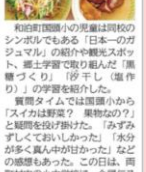
今帰仁村立兼次小5年生。三線を手に、しまくとぅば語やびら北部地区大会に出場して会場を沸かせた。

琉球古典音楽協会の琉楽徴励賞を受賞した実力者。「学校でも那嶺直樹先生から三線を習い、歌詞に興味が出た。休日は家族で歌練習りが楽しみさぁ」。安波節や登銘節を演奏して「上手だね」と声かけられた。「三線は続けるよ」と満面の笑み。（宜野座、仲地暁通信員）

地元特産品紹介、交流深める

今帰仁・兼次小と鹿児島・国頭小

朝刊 2022/08/02 P21 市町村



今帰仁村と和泊町の児童生徒に提供された共同献立

【今帰仁】今帰仁村立兼次小学校（上間久仁校長）の5年生20人と、鹿児島県沖永良部和泊町立国頭小学校（中村健三郎校長）の6年生11人が7月12日に交流給食を行った。

同村と和泊町は2020年1月に友好都市協定を結んだ。昨年から地元特産品を交換する食材交流プロジェクトを実施し、今年3月に和泊町の走トンバレイショを村内の給食で味わった。今帰仁村からは7月11日に今帰仁スイカ200％を和泊町に届けた。

ウェブ交流ではスイカの作り方やクイズを出題し、バナナやパパイヤなどの果物と糖度を比較した結果などと説明した。

和泊町国頭小の児童は同校のシンボルでもある「日本一のガジュマル」の紹介や観光スポット、郷土学習で取り組んだ「黒糖づくり」（砂糖工場見学）の学習を紹介した。

質問タイムでは国頭小から「スイカは野菜？　果物なの？」と疑問を投げ掛けた。「みずみずしくておいしかった」「水分が多く真ん中が甘かった」などの感想もあった。この日は、同町村内の小中学校に、今帰仁スイカが入った共同献立が振る舞われた。（新城孝博通信員）

スイカについて説明する和泊町立国頭小学校の児童

兼次小6人 琉楽奨励銅賞

今帰仁「夏休みの快挙」に地元沸く

【今帰仁】今帰仁村兼次小学校（上間久仁校長）の5年生6人が8月6日、うるま市民芸術劇場で行われた琉球古典音楽野村流音楽協会（同会主催）の第16回琉楽奨励賞で、琉楽奨励銅賞に入賞し、全員が合格した。

「夏休みの快挙！」と学校や地域で明るい話題となっている。

挑戦したのは大城七海さん、天久ことはさん、與那嶺栄路さん、領藤暖人さん、長屋隆さん、仲里清太郎さん。指導した同校支援員で同協会師範でもある与那嶺直樹さん（61）は「一つの学校から6人全員合格は珍しいと思うが、子どもたちはよく頑張ってくれた」と目を細めた。6人を代表した天久さんが「舞台上が明るく、目の前の審査委員たちに、とても緊張したがやり切った」と笑顔で話した。

与那嶺さんは昨年4月に仕事を定年退職した後、10月ごろから三線教室を開いており「子どもから多くの方々にもっともっと沖縄の素晴らしい三線文化を広めたい」と興味のある方々に呼び掛けている。

問い合わせは与那嶺直樹研究所☎090（5088）5374。（新城孝博通信員）

今帰仁村立兼次小学校
地域の協力に感謝

上間久仁校長　児童らは栽培委員が中心となり、花壇のレイアウトなどをした。今帰仁村は緑化木生産が県内シェアの約8割を占める。プッソウゲなどの花、廊下や中庭の観葉植物は地域で生産されたものをいただいたものだ。地域の皆さんの協力に感謝している。